

マシュンク節 元歌：伊江島民謡

◆マシュンク節：元歌

C
1. ヨーテー マシュンクとう
G C
ナビとう ヨーテ
C G C
マシュンクとう
C G C
ナビとう 見比びてい みりばよ
G G7
ウネ シクテントウンテン

2. うりが実 なりば <うりがナイ なりば>
里にちん持てい うえさなや <サトウにちんムてい うえさなや>

3. 各恋人恋人 恋人抱ちよてい <ナニングルニングル ニングルダちよてい>
美童話ぬ 面白さよ <ミヤラビハナシぬ ウムツさよ>

* 歌詞の順番は、地域によって違います。

■マシュンク節：意訳

1. ヨーテー マシュンクと
ナビと ヨーテ
マシュンクと
ナビとを 見比べて みれば
ウネ シクテントウンテン

2. その（ヘチマ）実が なれば
あの方へ持って行って あげましょう

3. それぞれの恋人同士が 恋人と抱き合っ
て 娘の話の 面白さよ

- ・『マシュンク節』は、若い男女の恋物語を、回りが面白おかしく歌い上げる歌です。「マシュンク」は男の名、「ナビ」は女の名。二人は村中で評判の恋仲なのです。何度も出てくる「ヨーテー」は、ハヤシです。
- ・「ナベラの実を、ナベがマシュンクにあげる。」
「ナベラ」は「ヘチマ」の方言名ですが、「ナベラ」と「ナベ」を引っ掛けています。
- ・このふざけた歌い様でも、回りが二人をヤッカミ半分で茶化している事がわかりま
す。
歌詞の続きを見ると、回りの騒ぎを他所に、二人の仲は深まっていくばかりのよう
です。